



2019年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年4月12日

上場会社名 株式会社東名 上場取引所 東名
 コード番号 4439 URL <https://www.toumei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 文彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 関山 誠 TEL 059 (330) 2151
 四半期報告書提出予定日 2019年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第2四半期の連結業績（2018年9月1日～2019年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第2四半期	5,323	—	301	—	334	—	297	—
2018年8月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年8月期第2四半期 295百万円 (—%) 2018年8月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第2四半期	141.71	—
2018年8月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2018年8月期第2四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年8月期第2四半期の数値及び2019年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式としての新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 当社は、2018年12月14日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2018年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たりの四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第2四半期	5,787	2,775	48.0
2018年8月期	5,487	2,480	45.2

(参考) 自己資本 2019年8月期第2四半期 2,775百万円 2018年8月期 2,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年8月期	—	0.00	—	—	—
2019年8月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年8月期の連結業績予想（2018年9月1日～2019年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,764	8.8	535	52.7	529	26.9	464	△19.6	208.81

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 2019年8月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募株式数（300,000株）を含めた予定期中発行済株式数により算出しております。
 3. 当社は、2018年12月14日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2019年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
 （注）詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年8月期2Q	2,100,000株	2018年8月期	2,100,000株
② 期末自己株式数	2019年8月期2Q	－株	2018年8月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年8月期2Q	2,100,000株	2018年8月期2Q	－株

- （注） 1. 当社は、2018年12月14日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。
 2. 当社は、2018年第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年8月期第2四半期における期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、個人消費及び企業における設備投資は増加傾向にあり、緩やかな回復が続いておりますが、米中の通商問題が世界経済に与える影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、定期的なフォローによる顧客保全に努め、また、電力の小売代理店事業に力を入れ、中小企業・個人事業主のコスト削減に対する潜在的ニーズの取り込みを行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,323,249千円、営業利益301,778千円、経常利益334,393千円、親会社株主に帰属する四半期純利益297,597千円となりました。

セグメント毎の概況は、次のとおりであります。

(オフィス光119事業)

「オフィス光119」の主要ターゲットである中小企業・個人事業主の獲得及びクロスセルによる自社サービスの契約件数が堅調に推移いたしました。また、既存顧客に対するフォローコール等を通じた接触により継続取引の促進を図ったことにより、「オフィス光119」の利用継続率が安定いたしました。

新規顧客については、スタートアップ企業の業種・業態を中心としたリスト分析を基に、導入勧奨を行いました。

この結果、オフィス光119事業の売上高は4,354,033千円となり、セグメント利益は287,573千円となりました。

(オフィスソリューション事業)

「オフィス光119」の既存顧客を始めとする優良顧客に対しては、継続したリテンション活動を行い、オフィス環境改善のためのサポートに努め、現状起きている課題や問題を吸い上げ、信頼関係の構築に努めてまいりました。このような中、情報端末機器の販売及び電力の小売代理店事業が順調に推移いたしました。

この結果、オフィスソリューション事業の売上高は840,429千円となり、セグメント利益は227,006千円となりました。

(ファイナンシャル・プランニング事業)

新規来店客数が年末にかけて落ち込みましたが、年始から店頭でのイベント（血管年齢の測定等）に力を入れたことにより新規来店客数が回復してまいりました。新規来店客数が落ち込んでいた時期には、教育・研修に時間を割き、スタッフのヒアリング力を向上することができました。

この結果、ファイナンシャル・プランニング事業の売上高は121,910千円となり、セグメント利益は20,435千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は5,787,787千円(前連結会計年度比5.5%増)となりました。これは主に現金及び預金が329,732千円、受取手形及び売掛金が177,943千円増加した一方、その他の流動資産のうち未収入金が157,771千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は3,012,016千円(前連結会計年度比0.2%増)となりました。これは主に支払手形及び買掛金が47,950千円、未払法人税等が31,170千円増加した一方、未払金が63,090千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は2,775,770千円(前連結会計年度比11.9%増)となりました。これは主に利益剰余金が297,597千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年4月3日の「東京証券取引所マザーズ及び名古屋証券取引所セントレックスへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当該連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,871,298	2,201,031
受取手形及び売掛金	2,610,988	2,788,931
商品及び製品	4,745	6,225
原材料及び貯蔵品	92,143	107,892
その他	280,180	95,580
貸倒引当金	△35,302	△69,566
流動資産合計	4,824,054	5,130,094
固定資産		
有形固定資産	369,574	362,720
無形固定資産	1,875	1,856
投資その他の資産		
投資有価証券	34,704	31,386
繰延税金資産	67,325	68,327
その他	190,407	193,401
投資その他の資産合計	292,437	293,115
固定資産合計	663,887	657,692
資産合計	5,487,942	5,787,787
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,056,964	1,104,914
短期借入金	200,000	200,000
未払金	329,208	266,118
未払法人税等	20,181	51,351
賞与引当金	42,078	42,958
販売促進引当金	9,909	6,859
店舗閉鎖損失引当金	796	—
資産除去債務	212	—
その他	94,676	85,884
流動負債合計	1,754,026	1,758,085
固定負債		
社債	1,200,000	1,200,000
資産除去債務	46,346	47,055
その他	7,079	6,875
固定負債合計	1,253,426	1,253,931
負債合計	3,007,453	3,012,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	65,972	65,972
資本剰余金	55,972	55,972
利益剰余金	2,334,835	2,632,432
株主資本合計	2,456,779	2,754,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,709	21,393
その他の包括利益累計額合計	23,709	21,393
純資産合計	2,480,489	2,775,770
負債純資産合計	5,487,942	5,787,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
売上高	5,323,249
売上原価	3,355,877
売上総利益	1,967,371
販売費及び一般管理費	1,665,592
営業利益	301,778
営業外収益	
受取利息	1,345
受取配当金	36
債務等決済差益	31,997
その他	5,920
営業外収益合計	39,299
営業外費用	
支払利息	5,084
その他	1,600
営業外費用合計	6,685
経常利益	334,393
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	334,393
法人税等	36,796
四半期純利益	297,597
親会社株主に帰属する四半期純利益	297,597

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益	297,597
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△2,315
その他の包括利益合計	△2,315
四半期包括利益	295,281
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	295,281

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	オフィス光119 事業	オフィス ソリューション 事業	ファイナンシャル・プランニン グ事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	4,354,033	840,429	121,910	5,316,373	6,875	5,323,249
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5	477	—	483	—	483
計	4,354,038	840,907	121,910	5,316,856	6,875	5,323,732
セグメント利益	287,573	227,006	20,435	535,014	5,179	540,194

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	535,014
「その他」の区分の利益	5,179
全社費用(注)	△238,415
四半期連結損益計算書の営業利益	301,778

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。